

子育て支援型マネジメント研修 実証事業

参加費無料

はぐプロジェクト

育休を取得する社員や多様な働き方への理解促進を目指すため、県内10市(南相馬市・福島市・会津若松市・白河市・須賀川市・喜多方市・相馬市・二本松市・田村市・伊達市)では、東京大学と連携して、子育て支援型マネジメント研修・保育体験研修「はぐプロジェクト」を行います。企業において子育て支援の推進に役立てる内容となっておりますので、ぜひ参加をご検討ください。

【事業概要】

子育て支援型
マネジメント研修

子育て支援型マネジメントの意義や実践方法を学ぶ

- ✓ 所要時間：約2時間
- ✓ 実施方法：オンライン

保育体験研修

経営者や管理職が保育施設で見学・交流を実施

- ✓ 所要時間：約半日



お申込みはこちら



実践的研修と保育体験で、マネジメントが変わる。 育休取得を取得し働きがいのある、強い組織風土へ。

令和4年4月より、「産後パパ育休（出生時育児休業）」を設ける改正育児・介護休業法が施行され、福島県の男性育児休暇取得率は55.2%（令和7年度）と全国平均40.5%（令和6年度）より高いものの、国が目指す85%の達成には届かない現状にあります。

若年層（18～25歳）の87.7%が育児休暇の取得を望んでいるという調査結果がありますが、育休を取得しない理由として、およそ3人に1人が「職場が男性の育休取得を認めない雰囲気であること」を挙げています※1。育休取得の促進において、取得する社員と上司の相互理解を深めることが重要です。

また、育児取得を取得することで、働きがいのある職場環境には多くのメリットがあります。本事業への参加メリットは以下のとおりです。

01 組織風土変革と従業員の意識変容



- 男性の育休取得推進に取り組んだ企業の約半数が職場の雰囲気が良くなり従業員満足度が高まったとの調査結果が報告されています※2。
- 家事・育児に関わった管理職は仕事の効率化やマネジメント力向上にもつながっています。
- 従業員の声を集めるための匿名アンケートも用意しており、幅広い意見を制度改善に反映させることができます。

02 人材確保



- 就活生の約7割（男性も6割超）が育休実績を重視しています※3。育休取得率を公表する企業では新卒・中途採用応募者の増加が報告されており※4、育児支援に積極的な会社は「働きやすい会社」として評価されやすい傾向にあります。
- 育児支援が整った職場では従業員の愛着心が高まり、退職を防ぐ効果があることが各種調査で報告されています。
- 入社から半年での早期離職者を1人防ぐと、採用・育成コストなどで数百万円の損失を抑えられるという試算があります※5。
- 育休制度への投資は、人材確保の観点からも意義があると考えられます。

03 企業イメージ向上・助成金や認定取得



- 地域の先進的取組として注目され、消費者や取引先へのアピールとなります。
- 制度整備にあたり、自治体の支援策や国の両立支援等助成金を利用できます。育児支援に積極的な企業として「くるみん認定」などの取得を目指せば、さらなる評価向上が期待できます。

※1)内閣府「第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

※2)厚生労働省「令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」報告書

※3)厚生労働省「若年層における育児休業等取得に対する意識調査」

※4)厚生労働省「令和5年度男性の育児休業等取得率の公表状況調査」報告書

※5)エン・ジャパン株式会社「『早期離職』に関する調査レポート2025年版」

参加要件・スケジュール

参加内容と協力をお願い

- 参加期間中に、研修の受講機会があります。研修内容の検証や改善のため、実際の受講時期や内容は受講企業によって異なる場合があります。
- 費用負担はありません（無料）。
- 3回程度のアンケート調査にご協力いただきます。すべてオンライン等で実施し、個人や企業が特定されることはありません。
- 社内の従業員の皆さまにも1回程度の任意アンケートをお願いする予定です。多くの方にご協力いただきますようお願いいたします。

参加要件およびスケジュール

- 男性育休の取得率に課題を感じている従業員数10名以上の企業
- 社長をはじめとする管理職の方々
- 参加者本人および企業を対象とした計3回程度のアンケート調査にご協力いただける企業
- ご参加される企業は、学術的な効果検証のため、無作為にAグループ・Bグループのいずれかに割り当てられます。座学研修と保育体験の実施時期は両グループで異なりますが、どちらのグループも必ずご参加いただけます。どちらのグループになるかは、お申し込み後に順次決定し、ご連絡いたします。具体的な参加日程は、申し込み後に日程調整のご連絡を差し上げます。

グループ	座学研修の実施時期（予定）	保育体験の実施時期（予定）
A	令和8年7月27日（月） 13:30～15:30	令和8年7月29日～10月末
B	令和9年4月	令和9年7月～10月

※ 令和8年度または令和9年度のどちらに割り当てられた場合でも参加可能な企業のみお申し込みいただけます。グループの選択はでき兼ねますので、あらかじめご了承ください。

保育体験当日のスケジュール（予定）

時間割	内容	詳細
9:00～	保育の方法	実習内容や注意事項説明
～10:00	年齢に応じた遊び	砂遊び、ままごと、マット遊びなどの遊び活動、抱っこ・おんぶ、おもちゃ片付け等子どもとの日常的な関わりを体験
10:00～10:20	おやつ	
10:20～11:30	年齢に応じた遊び	
11:30～12:00	昼食	給食の準備、清掃補助
12:00～12:30	参加者昼食	給食代（316円）を徴収します
12:30～13:20	振り返りシート	保育士との意見交換、病気等の呼び出し事例について、体験がどのように会社の施策に生かせるか等
13:20～13:30	体験後アンケート	封筒に入れ提出。振り返りシートと合わせて保育所で保管
13:30	解散	

※ 季節や天候等により、活動内容が異なります。（戸外遊び、室内遊び、水遊び等）

福島県内10市 ×



東京大学

THE UNIVERSITY OF TOKYO

子育て支援型マネジメント研修 実証事業

はぐプロジェクト

参加費無料



(写真) 南相馬市での市職員による保育体験の様子

伊達市子育て支援ウェブサイト

にこにこ



えるぼし・くるみん・ユースエール
市内認定企業



参加お申込み方法

下記URLまたはQRコードでお申し込みください。
<https://bit.ly/4sutk2V>

※ お申込みの際は、貴社の参加者全員分をまとめてご登録ください。

お申込みはこちら



【申込期限】 令和8年7月15日（水）

主催：福島県伊達市
協力：東京大学、同志社大学



お問い合わせ

伊達市こども部
ネウボラ推進課

☎024-573-5687